

桜丘高校 インターアクト部

高校生ボランティア・アワード2024



集合写真

活動団体プロフィール

桜丘JRC部（現インターアクト部）は1981年、当時の高校2年生の有志約50名と顧問の教師1名により最初は同好会としてスタートしました。当時は今ほどボランティアに対する関心も少なく、要請もあまりない状況でしたが、顧問の関係するいくつかの施設で、ボランティアを行いました。最初は近くの肢体不自由児の養護学校に見学に行きました。

そこからスタートし、知恵遅れの子どものための施設や作業所、老人施設など様々なところでボランティアに行きました。ボランティア以外の活動としては、週1回北区の手話指導員の方を講師としての手話講習会や点字講習会などを開催。青少年赤十字の活動としては、上野動物園の迷子相談、救急法講習会への参加、モンゴルへの衣料提供など。

赤十字の国際交流活動では、日本の代表として、オーストラリア、カナダ、上海、ソウルなどに参加した生徒もいました。やがて定着した活動としては、あしなが学生募金や練馬の老人ホームでのボランティア。礎の石孤児院の活動支援などです。

その他、飛鳥山公園の清掃、学校周辺の掃除活動など地域の活動もおこなっています。

「日常からはじめるボランティア」

- ・地域活性化のために夏祭りボランティア
- ・世界の課題解決活動DAREDEMO HERO
- ・上野動物園での迷子ボランティア
- ・能登半島地震、ルワンダへの募金活動
- ・街の美化を目指したゴミ拾い
- ・使用済み切手を回収し、福祉のための資金作り

上記にあるようにメインテーマは決めず、**人のためになることを身近なところから世界まで、自発的に活動**してきました。

活動の目的・志など

「身近な一歩」からコツコツと

コロナ禍で活動の幅が狭まったこともありましたが、ゴミ拾いや募金などの身近なボランティア活動を部員一丸となって取り組んできました。全体の取り組みから各々興味を発展させ、自発的な活動を広げていくことを目的に活動しています。



・夏祭りボランティア
→コロナ禍で活動が制限され、交流の場が無くなり地域の結びつきも弱くなる現状に危機感を持ち、足立区内の商業施設で開催された、「子ども夏祭り」の縁日ブーススタッフのサポートを行った。



・DAREDEMO HERO
→たとえ貧困や問題のある家庭に生まれても、夢と志を持って努力を重ねれば、自分の夢を叶え、社会に貢献できるヒーローになれる！をコンセプトに、教育支援・地域支援・文化交流を促進する活動を行った。



・上野動物園の迷子ボランティア
→GWの人出が多い中、楽しく動物園を子供たちに過ごしてもらうため、迷子を防止するための迷子札配布や迷子発生時の迅速対応を行った。



・礎の石孤児院&ルワンダ募金
→外国孤児や学習機会が確保されないルワンダの子供たちへの支援を目指し、文化祭にて多くの人が通るスペースに社会問題（孤児の写真やデータなどを用いて）を訴えた。集まったお金は礎の石孤児院とルワンダ（赤十字社経由）へ届けた。そのほか募金を使い勉強道具などを送付した。

②環境美化

・北区の清掃活動
→王子駅や西巢鴨駅周辺のごみ拾いを行い、美化活動だけでなく、「ごみの集まりやすい場所や捨てられてしまう原因」を探究した。

・街づくりの財源に貢献する
→使用済みの切手を回収し、北区福祉センターに届ける年間通して行った。



③募金



学校から世界まで ①地域活動

今後の展望・夢など

「ボランティアを身近に」

今後はボランティア活動をもっと身近にしていきたいです。まず私たちは人は他人と関わりコミュニケーションをとるべきだと考えています。これは他人とコミュニケーションをとることでより広い視野を得ることができ、自分をより理解することにも繋がります。それに加えて、ボランティアなら人と関わりながら人を助けることが出来ます。